

2020年3月期第2四半期 決算補足説明資料

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2019年11月13日

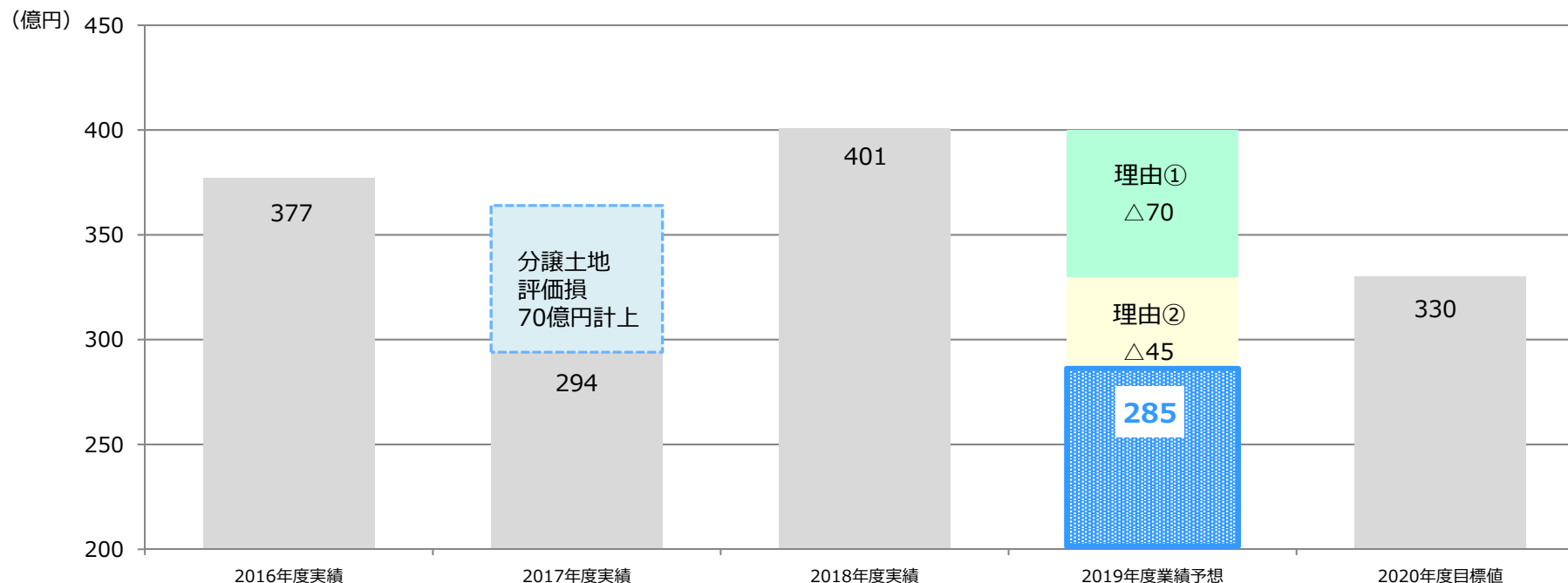
<https://www.keikyu.co.jp>

- ◆ 不動産事業において、分譲マンションの販売および引渡しが順調に推移したことに加え、マンション事業計画用地を売却したことなどにより増収増益

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
営業収益	151,077	165,241	14,164	9.4
営業利益	19,222	21,708	2,485	12.9
経常利益	17,994	20,395	2,400	13.3
特別利益	1,050	367	△683	△65.0
特別損失	842	729	△112	△13.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,368	13,751	1,382	11.2

2019年度業績予想における営業利益・費用について



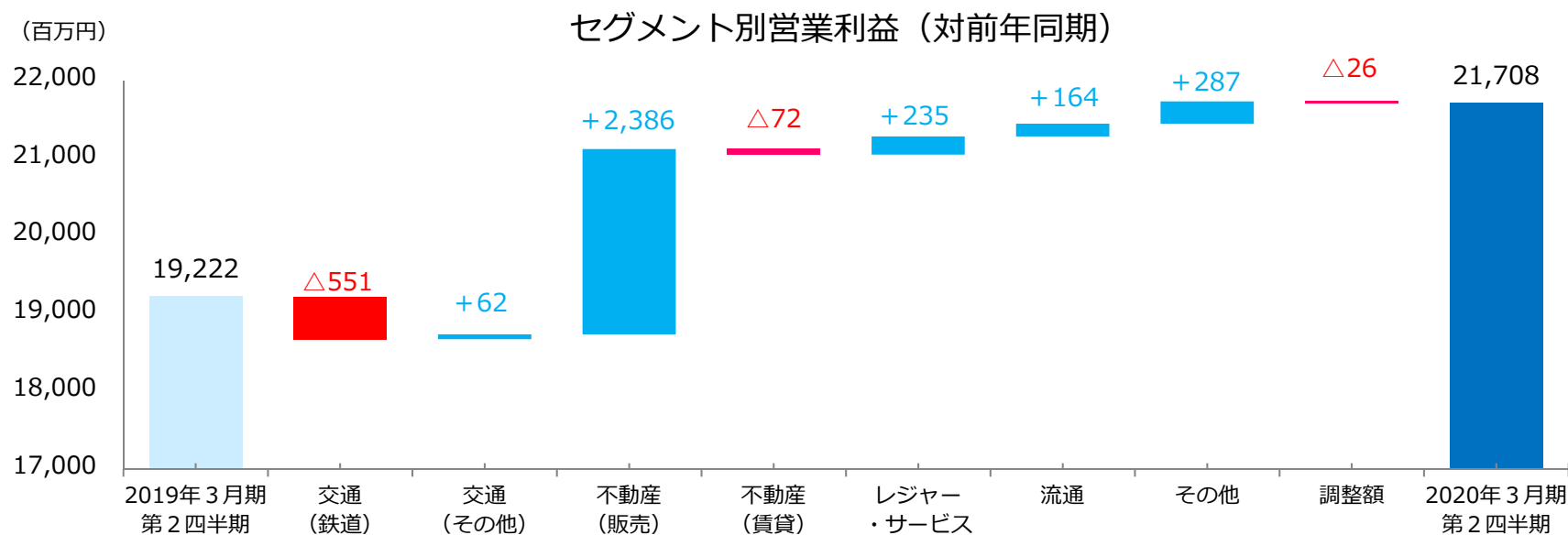
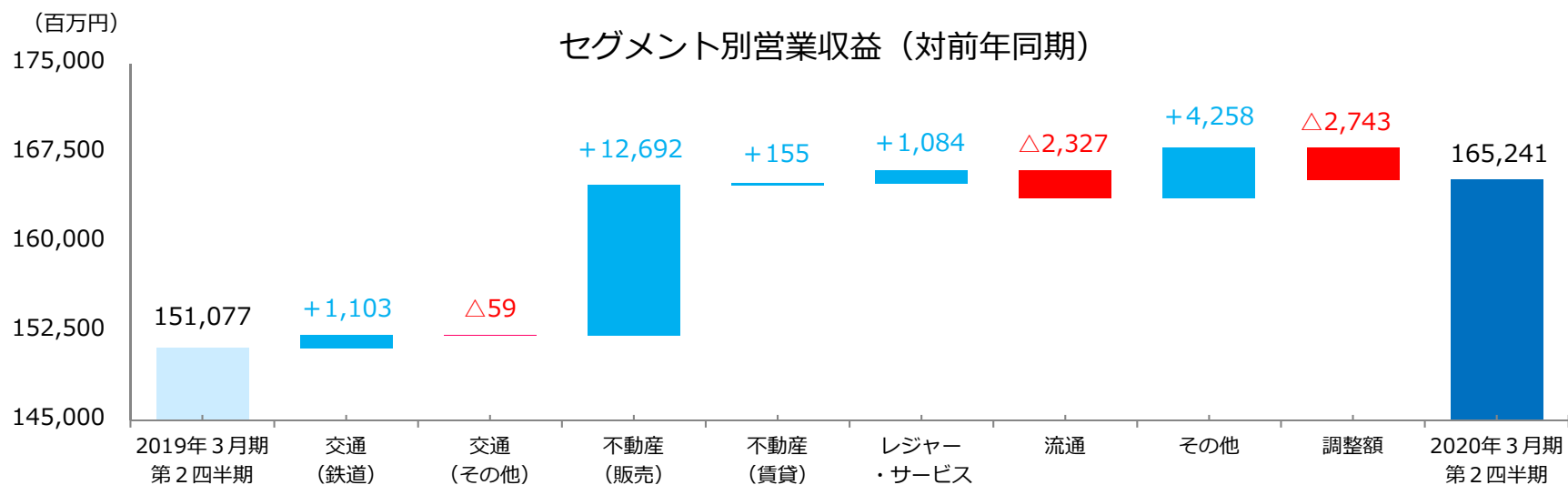
<費用等の発生状況および発生値（カッコ内の数値は、2019年度計上費用）>

	理由①（継続的要因）	理由②（2019年度のみの一時的要因）
	加算運賃引下げ（△15） ⇒10月1日から引下げのため、下期から発生。	プライムパークス品川シーサイド ザ・タワーの2018年度の販売好調分等（△30）
	ホームドア、新本社ビル等の減価償却費（△15） ⇒1/3程度発生。ホームドア等は3Q以降中心、新本社償却2Q開始	加算運賃引下げに関する広告宣伝費（△10） ⇒1/3程度発生。下期も広告宣伝費などが発生。
	退職給付費用（△15） ⇒概ね半分程度（毎四半期均等発生）	本社移転費用（△10） ⇒移転後の3Q以降に発生。
	開発検討調査費用（△10） ⇒ごく少額発生。下期に発生予定。	その他経費等（+5）
	その他経費等（△15） ⇒1/3程度発生。	
合計	△70	△45

(単位：百万円)

		2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
交 通 事 業	営業収益	62,942	63,987	1,044	1.7
	営業利益	12,223	11,733	△489	△4.0
不 動 産 事 業	営業収益	17,831	30,679	12,847	72.1
	営業利益	2,139	4,453	2,313	108.1
レジャー・サービス事業	営業収益	18,533	19,617	1,084	5.8
	営業利益	3,519	3,754	235	6.7
流 通 事 業	営業収益	52,951	50,624	△2,327	△4.4
	営業利益	1,192	1,356	164	13.8
そ の 他	営業収益	19,195	23,453	4,258	22.2
	営業利益	588	876	287	48.8
合 計	営業収益	171,454	188,362	16,908	9.9
	営業利益	19,663	22,174	2,511	12.8
調 整 額	営業収益	△20,377	△23,120	△2,743	—
	営業利益	△440	△466	△26	—
連結損益計算書 計 上 額	営業収益	151,077	165,241	14,164	9.4
	営業利益	19,222	21,708	2,485	12.9

(参考) セグメント別営業収益・営業利益の増減



- ◆ 鉄道事業において、都心方面および羽田空港の輸送人員の増加などにより増収
- ◆ 鉄道事業において、退職給付費用および減価償却費の増加などにより減益
- ◆ バス事業において、燃料費および人件費の減少などにより増益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
交通事業計	62,942	63,987	1,044	1.7	12,223	11,733	△489	△4.0
鉄道事業	43,142	44,245	1,103	2.6	10,796	10,245	△551	△5.1
バス事業	17,572	17,598	25	0.1	1,414	1,491	76	5.4
タクシー事業	2,227	2,142	△84	△3.8	11	△2	△14	—

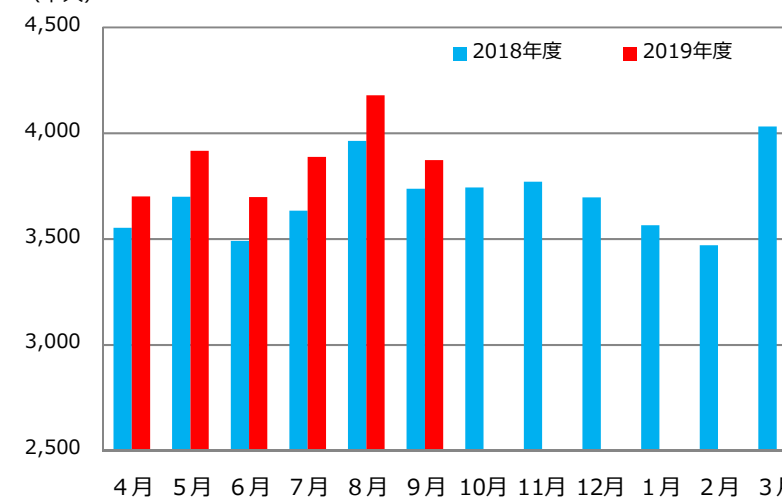
<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

		輸送人員（千人）				旅客運輸収入（百万円）			
		2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減	増減率 （%）	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 （%）
合	定期	136,249	140,194	3,945	2.9	16,174	16,543	368	2.3
	定期外	107,567	110,506	2,939	2.7	25,403	26,074	670	2.6
合計		243,816	250,700	6,884	2.8	41,578	42,617	1,038	2.5

<羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の輸送人員>

		輸送人員（千人）			
		2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減	増減率 （%）
合	定期	3,840	4,074	234	6.1
	定期外	18,240	19,182	942	5.2
合計		22,080	23,256	1,176	5.3

羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の月別輸送人員推移
(千人)



◆ 不動産販売業において、分譲マンションの売上計上およびマンション事業計画用地の売却などにより増収増益

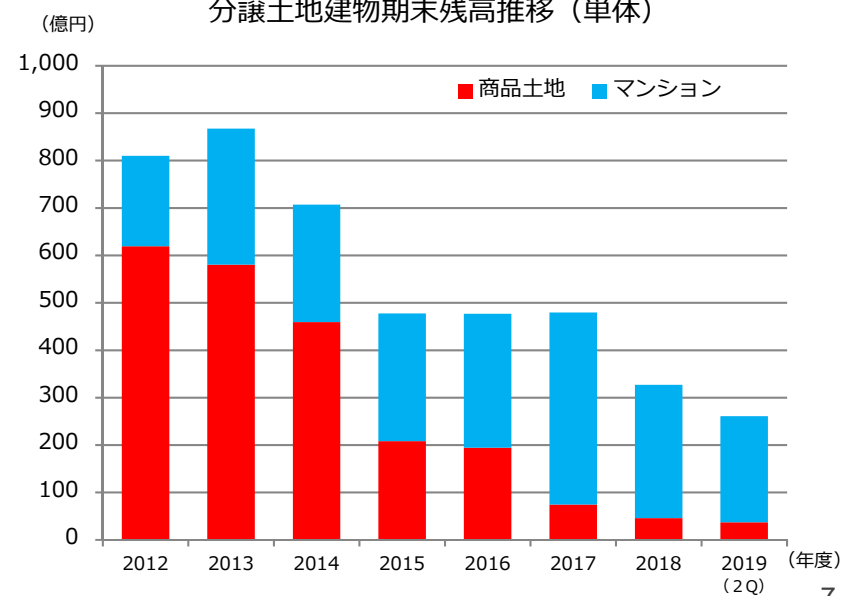
(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
不動産事業計	17,831	30,679	12,847	72.1	2,139	4,453	2,313	108.1
不動産販売業	7,571	20,263	12,692	167.6	△813	1,573	2,386	—
不動産賃貸業	10,259	10,415	155	1.5	2,952	2,880	△72	△2.5

マンション、宅地・戸建て販売戸数・区画数 (単位：戸・区画)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減
マンション分譲	306	199	△107
(持分換算後)	91	99	8
宅地・戸建て	41	107	66

分譲土地建物期末残高推移 (単体)



- ◆ ビジネスホテル業において、新館を中心に各館が順調に推移したことなどにより増収となったものの、人件費および新館開業に伴う費用等が増加したことなどにより減益
- ◆ レジャー関連施設業において、ポートルース事業の売上が好調に推移したことなどにより増収増益
- ◆ レジャーその他において、広告受注等の増加などにより増収増益

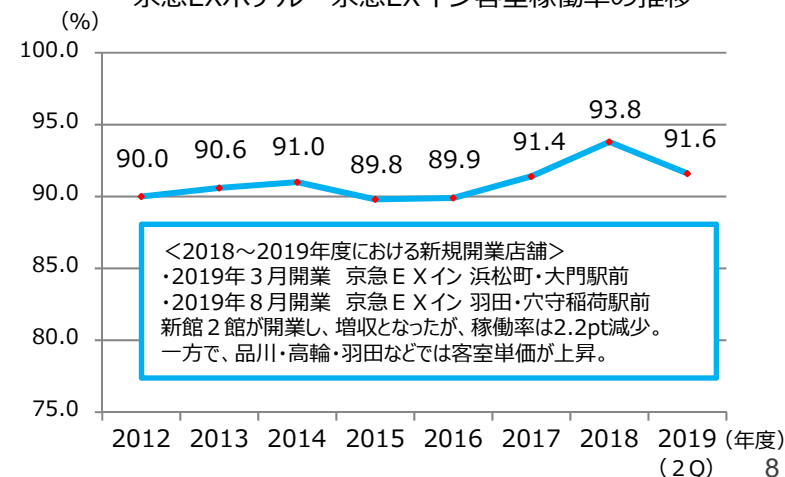
(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
レジャー・サービス事業計	18,533	19,617	1,084	5.8	3,519	3,754	235	6.7
ビジネスホテル業	5,386	5,655	268	5.0	1,507	1,457	△49	△3.3
レジャー関連施設業	6,400	6,793	392	6.1	1,169	1,379	210	18.0
レジャーその他	6,746	7,168	422	6.3	842	917	74	8.8

京急EXホテル・京急EXイン客室稼働率

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減
客室稼働率	93.8%	91.6%	△2.2pt

京急EXホテル・京急EXイン客室稼働率の推移



- ◆ スーパーマーケット業において、前期に閉店した店舗（京急ストア サニーマート店等）の影響などにより減収
- ◆ 百貨店業において、人件費等の減少などにより増益
- ◆ SC業において、前期に耐震補強工事に伴い休業していた店舗（ウイング新橋）が通期稼働したことなどにより増益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
流通事業計	52,951	50,624	△2,327	△4.4	1,192	1,356	164	13.8
百貨店・SC業	17,287	17,468	181	1.0	150	377	227	151.3
百貨店業	15,858	15,684	△173	△1.1	△49	85	134	-
S C 業 ※(旧)流通その他	1,429	1,783	354	24.8	199	292	93	46.7
ストア業	35,664	33,155	△2,508	△7.0	1,041	979	△62	△6.0
スーパーマーケット業	27,939	25,656	△2,282	△8.2	244	300	55	22.9
コンビニ・物販業ほか ※(旧)物品販売業	7,725	7,499	△225	△2.9	797	679	△118	△14.8

◆ 京急建設(株)および京急電機(株)が施工した工事の増加などにより増収増益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
そ の 他 計	19,195	23,453	4,258	22.2	588	876	287	48.8

営業外・特別損益

KEIKYU

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
営業利益	19,222	21,708	2,485	12.9
営業外収益	1,200	1,077	△122	△10.2
受取利息	32	34	2	7.9
受取配当金	450	451	0	0.1
持分法による投資利益	359	341	△18	△5.0
その他	357	250	△107	△30.0
営業外費用	2,427	2,390	△37	△1.5
支払利息	2,237	2,083	△153	△6.9
その他	190	306	115	60.6
経常利益	17,994	20,395	2,400	13.3
特別利益	1,050	367	△683	△65.0
工事負担金等受入額	470	234	△236	△50.2
固定資産売却益	84	129	44	52.1
投資有価証券売却益	400	—	△400	△100.0
その他	94	3	△91	△96.0
特別損失	842	729	△112	△13.4
固定資産除却損	40	456	416	—
固定資産圧縮損	470	234	△236	△50.2
支払補償費	—	15	15	—
投資有価証券評価損	313	—	△313	△100.0
その他	17	23	5	32.3
税金等調整前四半期純利益	18,203	20,032	1,829	10.1

連結貸借対照表 (要約)

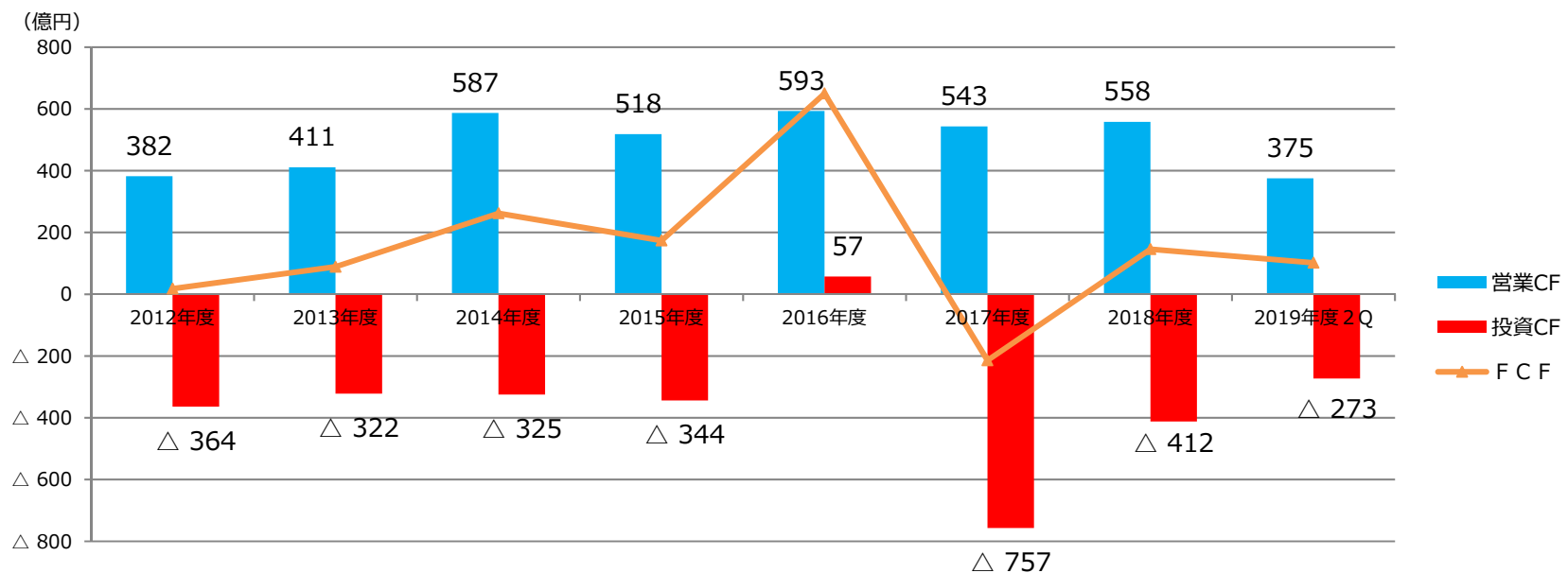
(単位：百万円)

		2019年3月期末	2020年3月期 第2四半期末	増減額
流 動 資 産	流 動 資 産	126,731	102,548	△24,182
	現金及び預金	45,742	39,755	△5,987
	受取手形及び売掛金	26,229	12,759	△13,470
	分譲土地建物	44,606	37,147	△7,458
	固 定 資 産	765,113	781,543	16,430
	有形固定資産	627,399	641,757	14,358
	投資その他の資産	131,886	133,430	1,543
資 産 合 計	891,844	884,092	△7,752	
負 債 合 計	622,005	603,622	△18,382	
	有利子負債残高※	429,849	415,791	△14,058
純 資 産 合 計	269,839	280,469	10,629	
負 債 純 資 産 合 計	891,844	884,092	△7,752	
※社債、借入金、CPの合計額				
	純 有 利 子 負 債 残 高	384,106	376,036	△8,070

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期末	2020年3月期 第2四半期末	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,704	37,580	17,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,346	△27,304	△10,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,408	△16,264	△26,672
現金及び現金同等物の増減額	13,766	△5,987	△19,754
現金及び現金同等物の期末残高	57,478	39,605	△17,873

【参考】フリーキャッシュフロー（営業CF + 投資CF）の推移



「2020年3月期 業績予想」は、5月に公表した業績予想から変更がないため、「2019年3月期決算補足説明資料」（2019年5月10日公表）の業績予想を再掲しております。

なお、本四半期決算を受け、「2020年3月期上期予想および通期予想に対する進捗」および「セグメント別通期予想に対する進捗率」を記載しております。（P.15、17）

2020年3月期上期予想および通期予想に対する進捗

- ◆ 通期予想は5月予想を据え置き
- ◆ 鉄道事業において、都心方面および羽田空港の輸送人員の増加などにより上期は上振れたものの、三浦半島プロモーション・加算運賃引下げに係るCM等の広告宣伝費および修繕工事費等が下期中心に発生するほか、下期からの加算運賃引下げの影響は当初想定のまま据え置いているため
- ◆ 不動産販売業において、分譲マンションの販売が好調に推移し、下期販売分を前倒して販売したことにより上期は上振れたものの、下期はその反動があるほか、販売物件の販売費用等が発生するため

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期予想	予想との差異	2020年3月期 通期予想	進捗率 (%)
営業収益	165,241	165,000	241	325,000	50.8
営業利益	21,708	18,000	3,708	28,500	76.2
経常利益	20,395	16,500	3,895	25,500	80.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13,751	11,000	2,751	16,000	85.9

連結損益計算書（業績予想）

- ◆ 前期に大規模分譲マンションの売上を計上した反動や、京急ストアの一部店舗が閉店したことなどにより減収
- ◆ 鉄道の費用の増加および加算運賃引下げの影響や、前期に大規模分譲マンションの利益を計上した反動などにより減益

（単位：億円）

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率(%)
営業収益	3,392	3,250	△142	△4.2
営業利益	401	285	△116	△29.0
経常利益	377	255	△122	△32.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	207	160	△47	△22.8

設備投資額※	539	813	274	50.9
減価償却費	299	329	29	9.8

※ 工事負担金等を含んでおります。

（2019年3月期：82億円、2020年3月期（予想）：10億円）

1株当たり 当期純利益	75.22	58.10
----------------	-------	-------

セグメント情報 (業績予想)

KEIKYU

(単位：億円)

		2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率 (%)	2020年3月期 第2四半期	進捗率 (%)
交 通 事 業	営業収益	1,247	1,239	△8	△0.7	639	51.6
	営業利益	208	136	△72	△34.7	117	86.0
不 動 産 事 業	営業収益	699	577	△122	△17.5	306	53.0
	営業利益	84	47	△37	△44.4	44	93.6
レジャー・サービス事業	営業収益	380	383	2	0.8	196	51.2
	営業利益	63	63	0	△0.7	37	58.7
流 通 事 業	営業収益	1,065	1,044	△21	△2.1	506	48.5
	営業利益	23	28	4	18.6	13	46.4
そ の 他	営業収益	558	560	1	0.2	234	41.8
	営業利益	40	26	△14	△35.4	8	30.8
合 計	営業収益	3,951	3,803	△148	△3.8	1,883	—
	営業利益	419	300	△119	△28.6	221	—
調 整 額	営業収益	△558	△553	5	—	△231	—
	営業利益	△18	△15	3	—	△4	—
連結損益計算書 計上額	営業収益	3,392	3,250	△142	△4.2	1,652	50.8
	営業利益	401	285	△116	△29.0	217	76.2

◆ 鉄道事業において、費用の増加および加算運賃引下げの影響などにより減収減益
（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2019年3月期	2020年3月期	増減額	2019年3月期	2020年3月期	増減額
交通事業計	1,247	1,239	△8	208	136	△72
鉄道事業	859	849	△10	188	121	△67
バス事業	344	344	0	19	14	△5
タクシー事業	43	44	1	0	0	0

<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

	輸送人員（百万人）				旅客運輸収入（億円）			
	2019年3月期	2020年3月期	増減	増減率（%）	2019年3月期	2020年3月期	増減	増減率（%）
定期	267	268	1	0.6	319	317	△1	△0.4
定期外	216	220	4	1.9	509	499	△9	△2.0
合計	483	489	5	1.2	828	817	△11	△1.4

<羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の輸送人員>

	輸送人員（百万人）			
	2019年3月期	2020年3月期	増減	増減率（%）
定期	7	8	0	6.4
定期外	36	39	2	6.6
合計	44	47	2	6.6

- ◆ 不動産販売業において、前期に大規模分譲マンションの売上を計上した反動などにより減収減益

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2019年3月期	2020年3月期	増減額	2019年3月期	2020年3月期	増減額
不動産事業計	699	577	△122	84	47	△37
不動産販売業	492	371	△120	42	5	△37
不動産賃貸業	207	205	△1	42	42	△0

- ◆ ビジネスホテル業において、新館の通期稼働および前期並みの稼働率を見込むことなどにより増収

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2019年3月期	2020年3月期	増減額	2019年3月期	2020年3月期	増減額
レジャー・サービス事業計	380	383	2	63	63	△0
ビジネスホテル業	107	114	6	27	29	1
レジャー関連施設業	125	129	4	19	20	0
レジャーその他	146	138	△7	16	13	△2

◆【流通事業等の再編および統合】

2019年4月1日をもって、流通事業等において再編および統合を実施

◀再編前▶



◀再編後▶



流通事業（業績予想）②

- ◆ ストア業において、一部店舗の閉店などにより減収
- ◆ 再編および統合を実施し、営業力の強化および経営の効率化を図ることならびに前期に店舗（ウイング新橋）の耐震補強工事による営業休止したことの反動などにより、百貨店・S C業の利益が改善

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2019年3月期	2020年3月期	増減額	2019年3月期	2020年3月期	増減額
流通事業計	1,065	1,044	△21	23	28	4
百貨店・S C業	365	368	2	5	9	4
百貨店業	336	334	△1	1	3	1
S C業 ※（旧）流通その他	29	34	4	3	6	3
ストア業	700	674	△26	18	18	△0
スーパーマーケット業	525	513	△11	4	4	△0
コンビニ・物販業ほか ※（旧）物品販売業	175	161	△13	13	13	0

※2019年4月1日をもって、流通事業等において再編および統合を実施したことにより、サブセグメントの内訳を一部組み替えております。

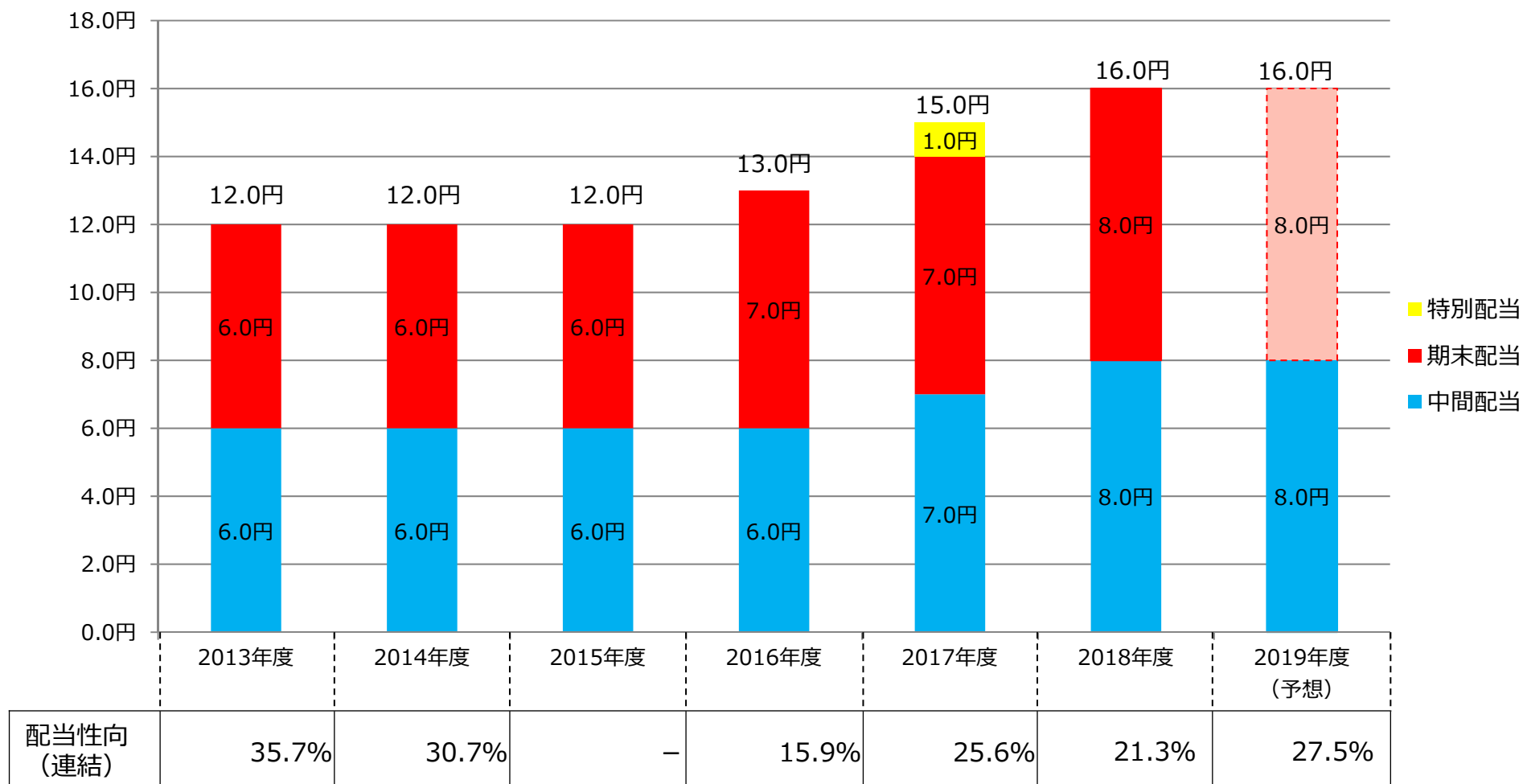
◆ 建設工事等の減少などにより減益

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2019年3月期	2020年3月期	増減額	2019年3月期	2020年3月期	増減額
そ の 他 計	558	560	1	40	26	△14

配当方針：安定配当の継続を基本とし、業績や財務状況等を勘案して行う。

※2017年10月1日の株式併合の影響を考慮して表示しております



KEIKYU

京急グループ

【ご注意】

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

総務部 統括課 株式・I R担当

Tel 045-225-9311

E-mail ir-keikyu_t7z@keikyu-group.jp